



## グリーンコープ共同体 カーボンニュートラル EXPOを開催

〈開催日〉3月23日(土)

〈会 場〉福岡県 マリンメッセ福岡 B館

〈主 催〉一般社団法人 グリーンコープ共同体

西日本を中心に16の生協と約43万人の組合員で構成される、一般社団法人 グリーンコープ共同体(以下、グリーンコープ)。2027年までに温暖効果ガスの排出ゼロを目指すグリーンコープでは、「今日の一步で未来が変わる」をテーマに「カーボンニュートラルEXPO」を開催しました。当日は、安心安全な食品の物販やカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを紹介するブース、環境をテーマにした各ゲストによるトークショー、超低床構造の小型BEVトラック「日野デュトロ Z EV」の展示・試乗といった体験型イベントを通じて、子どもから大人まで多くの来場者でにぎわいました。



子どもたちが触れて遊べる木のおもちゃが大集合。「木育」を通じて、環境の大切さを伝えています。



グリーンコープの日高谷子代表理事(左から5人目)や日野自動車の小木曾 聡代表取締役社長CEO(右から5人目)をはじめ、関係者によるオープニングセレモニーが行われました。



各ブースでは、食品の物販や無理せず行えるカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを紹介。



屋外ではEV車の試乗を実施。小型BEVトラック「日野デュトロ Z EV」の魅力を体感してもらいました。

### “無理せず小さなことから始めること”がカーボンニュートラル実現への第一歩

カーボンニュートラルEXPOは、来場者の皆さんにグリーンコープの活動を身近に感じていただき、環境に対して何ができるのかを考えるきっかけになればと開催しました。世界的な気候変動に対し、私たちも生命(いのち)や環境を大切に活動を持続しており、2027年までに事業で排出する温室効果ガスをゼロにすることを掲げています。その中でEV車への切り替えは大きな柱。自然エネルギーで発電した電気を使って、配送時のCO2をゼロにするとともに、乗り降りしやすくドライバーの負担を軽減できるのが日野デュトロ Z EVでした。日野自動車の協力をいただき、取り扱う商品のサイズに合わせて荷室の仕様も変更しています。また配送以外にも、被災地での充電をサポートする災害支援車としても活用できるのではないのでしょうか。これからも組合員を増やしていきながら、一緒に無理なくカーボンニュートラルに向けて取り組んでいけたらと思います。



一般社団法人  
グリーンコープ共同体  
代表理事 日高谷子様